

計画の実現に向けた 基本姿勢

計画の実現に向けた基本姿勢

計画の実現に向けては、県はもとより県民、市町、関係団体等の多様な活動主体が、計画の基本理念や将来像をしっかりと共有し、それぞれの役割分担のもと連携・協働して取り組んでいくことが重要です。

また県は、重点的に取り組むべき分野や施策の推進のために、予算や人員を適切に配分、投入し、絶えず効果的かつ効率的な行政運営に努め、県民の皆さんに具体的な成果を還元することが求められております。

これらを踏まえ、計画を推進するにあたっての基本姿勢を示します。

1 「連携・協働」の推進 ～県民と共に創り上げる～

県民に身近な、分かりやすい県政を推進するとともに、企業や大学、NPOなどの多様な主体が持っているアイデアや技術等を結集して、県民一体となって魅力的な県づくりに取り組んでいきます。

- 青空知事トーク*など県民との対話等を通じて多様化するニーズを的確に把握し、その適切な反映に努めます。
- 事業の企画～実行段階において、県民、企業、大学、NPOなど多様な主体との連携を推進します。
- ホームページや県政出前講座などを通して、県政の情報公開、情報発信の強化に取り組めます。
- 政府施策要望やスクラムミーティング*、佐賀県との連携など、国、市町、他県等との連携を強化します。

2 行財政改革の推進 ～具体的な成果を県民に還元～

限られた財源や人材を有効に活用し具体的な成果を県民に還元するため、これまでの行財政改革の取組をより一層進めていきます。

- 従来手法・仕組み・システムの徹底した省力化や、意思決定の迅速化、ICTの積極的活用などの業務プロセスの見直しを行います。
- より効果的・効率的に業務を実施する県職員を育成します。
- 県政の将来に向けて、持続可能かつ安定的な行財政運営を行います。

*青空知事トーク:知事自ら地域の実情を確かめ、地域住民や生産者等の声を直接聞き、県政に反映させるために、県内各地域で実施する地域住民との意見交換
*スクラムミーティング:知事と市長、町長が直接協議を行う会議。様々な地域課題について知恵を出し合い、解決する方策を協議する

3 PDCA サイクルの推進 ~計画推進に寄与する評価制度の構築・運用~

適切な評価による進捗管理を行うことで、施策や事業の見直し・改善につなげるなど、Plan(計画)-Do(実行)-Check(評価)-Action(改善)の一連のサイクルにより、総合計画全体の推進を図っていきます。

- 県民の理解と信頼を深めるため、適切な数値目標を設定し、毎年の達成状況を検証するとともに、政策評価などを通じた計画の進捗管理を実施し、その結果を分かりやすく公表します。
- 効果的、効率的な評価制度を構築し、計画の実効性を確保します。
- 評価結果を反映した効率的な施策構築と予算配分を行います。
- 社会経済情勢の変化に対応して、計画内容を弾力的に見直します。

